

# フォレストホームと資本業務提携

## 賃貸木造住宅に本格参入

エヌ・シー・エヌ(東京都、田鎖郁男社長)は、全国約500社のSE構法登録施工店のなかで優れたノウハウを持つ施工店に対して、資本提携・業務提携を行っていく方針を示した。第1号として、木造賃貸集合住宅の独自のノウハウを持つフォレストホーム(大阪市)に対し資本提携・業務提携を行い、SE構法による木造賃貸住宅事業を本格的に展開していく。

フォレストホームは、SE構法を採用した木造戸建て住宅や集合住宅による賃貸事業を行っており、NCNは今後のSE構法の普及に有益な事業と判断し、資本・業務提携を行うことになった。

フォレストホームの木造賃貸住宅事業は、SE構法のスケルトン&インフィルの考え方をプランニングに生かし、SE構法の強みである3階建てや独自の保証制度等を活用することで、建設予定の土地形状に合わせた提案を行う「土地の有効活用」を基軸としたもの。このビジネスモデルは近畿圏で、その利回りの高さやキャッシュフローの確保で各金融機関からの評価が高く、これを全国に展開していくために営業部門と施工部門を分割。営業部門には、NCNとフォレストホームの業務提携にあたりフォレストホームに資本金の51%を出資、社長にNCN取締

役の山河和博氏が就任。NCNでは木造賃貸住宅を建築するだけでなく、賃貸業を含めた総合的な事業を展開し、初年度は20棟、100室以上の供給を目標としている。